



荒川中だより

青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和7年度 第1号
令和7年4月14日発行
村上市立荒川中学校

花信風の吹く季節に

校長 西村 諭

「花信風」花の咲く季節が来たことを知らせる風が、吹く季節となりました。荒川地区の草木に美しい花が咲き、冬の間、暖かな日差しをじっと待っていた木の芽が吹き、心がワクワクするような躍動を感じます。

このような素晴らしい季節の中、4月8日に入学式を挙行し、58名の新入生を迎えました。新入生呼名で、一人一人が背筋を伸ばして返事をする姿から、「がんばろう」という決意が感じられました。また、入学式には、村上市長 高橋邦芳様のご臨席くださり、地域のご来賓の皆様と共に、入学を祝福してくださいました。

生徒を代表して、3年生の荒木楽さんが歓迎の言葉を述べました。新入生が感じてしまう新しい生活への不安に対して、「先輩たちが、皆さんが困っていたら絶対に見逃すことはしないので、安心してください」とやさしく語りかけ、大切にしてほしいこととして、「勉強、学校行事、自分で考えて行動すること」の3点を、例を挙げて伝えました。

また、新入生を代表して、渡辺波琉さんが誓いの言葉で、「1月に行われた体験入学に参加し、明るく優しい先輩、雰囲気のよい校内の様子に触れ、不安が小さくなりました。」とこたえました。さらに「今、励ましのお言葉をいただき、一人一人が自信をもって、自分の目標に向かって努力していこうと心に誓いました」と力強く述べました。

このように、在校生が温かく新入生を迎え入れようと準備をしてきたことが、新入生に伝わり、新入生が希望に満ちて入学してくてくれたことを、うれしく思いました。

私は式辞で、これから新入生が校舎や地域で吹かせてくれる、清々しい新しい風を、花信風に例えて、次のように話しました。

新入生の皆さんからは、清新であなたらしい風を吹かせてほしいと願っています。頑張っている人には、エールとなるように力強い風を。落ち込んでいる人には、励ますようにそっと。悩んでいる人には、やさしく付き添うように。人を傷つけている人には、たしなめるように。いろいろな風の吹かせ方で、周りには人は幸せな気持ちになります。皆さんは、周りを温かい空気で包む風になることができるのです。私たちは、誰もが、誰かの「花信風」になれると思っています。

また、当校には、一年間を通じて吹いている風があります。それは「あいさつ、がまん、あとしまつ」という風です。長年にわたり、皆さんの先輩が目指す生徒の姿として大切にしてきたものです。本年度は、生徒会のリーダーが「あいさつ、学力向上、いじめ見逃しゼロ」を重点に掲げて、様々な活動を展開します。皆さんの周りには、中学生のモデルとなる素晴らしい先輩がたくさんいます。ぜひ、先輩の姿や行動から多くを学んでください。

全校生徒196名と30名の教職員で、令和7年度がスタートしました。今年度も「笑顔と希望にあふれる学校」「地域の特色を生かし、地域とともにある学校」づくりに努めて参ります。皆様からは、学校教育への変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。